

ブロッコリー新芽 統合失調症予防？

千葉大がマウス実験

ブロッコリーの新芽プロ
ッコーリスプラウト写真
に多く含まれるスルフォ
ラファンという物質を小児
期に摂取すると、統合失調
症の予防につながる可能性
があるとマウスの実験
結果を、千葉大などのチー
ムが二十四日付の米オンラ
イン科学誌プロスワンに発
表した。



チームの橋本謙二千葉大
教授（神経科学）は「子ども
の時の栄養が成人期のメ

ンタルヘルスに影響を与え
るかもしれない」と話して
いる。今後、人で効果があ
るか検証する臨床研究を計
画している。

チームは、小児期に当た
る生後四週から八週のマウ
スを二群に分け、それぞれ
通常の餌とスルフォラファ
ンを含む餌を与えた。八週
以降、統合失調症と似た症
状を人に起こす麻薬を投与
すると、通常の餌を与えた
マウスはそれまで生活して
いた場所を初めての場所で
あるかのように探索して動
き回るなど、統合失調症の
中心的な症状である認知機
能障害が起きた。スルフォ
ラファンを含む餌で育った
マウスはそうした行動を起
こさず、発症しなかった。

また、麻薬を投与して発
症したマウスにスルフォラ
ファンを与えると、症状が
回復することも確認した。